

志布志市女性の未来共創事業【鹿児島県志布志市】

個別事業費	1,090 千円
交付金額	523 千円

地域の実情と課題

【令和2年国勢調査から】※数値は本市のもの

○生産年齢人口の減少 14,579人 平成27年度と比較して2,234人の減

○男女の労働力率

女性は20代前半と比較すると、20代後半にかけて労働力率が減少

→結婚や出産、育児を理由に一度離職する女性が多いと推測。

○就業率

男性69% 女性53% 男性と比較して女性の方が割合が低い

○本市の非正規雇用の割合

男性17% 女性49% 男性と比較して女性の方が割合が高い

→結婚や出産を機に離職し、その後再就職を希望しても職種や就業条件等で企業と適合が難しくなるため正規職員となるのが困難な状況

☆地域の女性活躍推進に対する理解と機運醸成を図る必要がある。

事業の特徴

地域の事業所や若者がともに「誰もが活躍できる職場」について、アイデアを出し合う場を設けることで、事業所が職場環境整備についての理解とそれに向けた改善に取り組む。

また、女性のキャリアアップと働き方に関する事業所・従業員の実態調査を行い、これまでの取組の成果を測り、地域独自の課題や今後取り組むべき方向性を明らかにする。

事業の効果

交流会やセミナーの開催後に参加者アンケートを実施

交流会・・・「非常に参考になった」「参考になった」と回答

各回100%

セミナー・・・「非常に参考になった」「参考になった」と回答 95%

アンケート・・・女性活躍を推進する事業所が全項目でポイント上昇していたものの、依然として管理職に就きたくない女性の割合が多く、課題が浮き彫りとなった

目的・目標

【目的】

事業所の誰もが活躍できる職場環境整備についての理解とそれに向けた取組を促す。また、事業所と若者が多様な働き方について地域社会で意見交換し、地域が一体となって誰もが活躍できるづくりの実現を目指す。

【目標】

男女共同参画・DV・女性活躍推進に関する住民意識調査に基づく「社会全体にみた場合に男女の地位は平等になっていると思うかについて『平等』と回答するものの割合」 15.8%(R3)→20%(R7)

連携団体

志布志市男女共同参画推進会議、志布志市ひとがともに輝くまちづくり審議会、地域コミュニティ協議会、鹿児島労働局、鹿児島大学(包括連携協定締結済)、県内大学、市内高等学校、鹿児島県、県内市町村

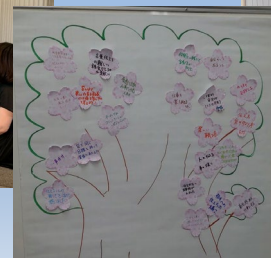
今後の課題

今年度の事業所・従業員アンケートの結果から、事業所の努力だけでは女性活躍推進のための改善や改革が追いつかない業種があることが分かった。また、キャリアアップを目指す従業員の割合が低いことから、女性の管理職登用を増やすための効果的な職場環境づくりに向けたアプローチを事業所及び従業員に向けて行う必要がある。

個別ワークショップ

募集期間: 令和6年6月～令和7年3月 参加: 1事業所

内容: 市が派遣するアドバイザーとともに誰もが働きやすい職場環境づくりに向けて、事業所内の課題を明らかにし、その解決に向けたワークショップに取り組んだ。大学生も参加し、学生の視点で意見、アイデアを提供した。



女性活躍推進セミナー

日時: 令和7年2月20日(水)14時～16時 参加: 21名

内容: ◆講演会「誰もが生きやすい社会を目指して」

講師 元橋 利恵 様(大阪大学人間科学研究科 招へい研究員)

女性活躍を推進するうえで外すことの出来ない、ケア労働者に対する歴史に焦点を当て、見落とされがちなケア労働者に対するケアの必要性について、講演を行った。

◆座談会

進行: 岩切 礼 様

アドバイザー: 高丸 理香様(お茶の水女子大学特任准教授)

ケア論をつうじて、現代にいたるまで女性が軽視されてきた歴史を学び、表舞台に見えてこない下支えをしていた人がいることを知る。

令和6年度 女性活躍推進セミナーのご案内

誰もが生きやすい社会を目指して

人生において、誰かに頼らないといけない場面は多々あります。しかし、誰にも言わず、我慢して頑張っていますか。身近に頑張っている人はいませんか。今回、ケア論の専門家である元橋 利恵さんを講師に迎えます。「自分自身」「大切な人」へのケアについて一緒に考えませんか。



講師 元橋 利恵さん
(大阪大学人間科学研究科 招へい研究員)

アドバイザー 高丸 理香特任准教授(お茶の水女子大学
ジェンダーダイバーシティ研究所)
ファシリテーター 岩切 礼さん(株式会社タマリバ)

開催日 令和7年2月20日(水) 午後2時～午後4時

会場 志布志市有明地区公民館 多目的ホール
(志布志市有明町野井倉1756番地)

対象者 どなたでも(参加には事前申込が必要です)

お申込み方法
(申込方法)
①裏面の「申込書」をコミュニティ推進課へ郵送又はFAX
②メール(件名に「セミナー参加」と入れ、氏名、電話番号を本文に記載してください。
③コミュニティ推進課に電話
④右の二次元コードからのお申込み →

お申込み
お問合せ先 志布志市役所 コミュニティ推進課 タイバシティ推進グループ
TEL 099-472-1111(内線342) Fax 099-473-2203
Email diversity@city.shibushi.lg.jp

講演後、座談会を開催します。講演の感想や普段思っていることについて自由に意見を交わしましょう！5名程度のグループに分かれて気軽に意見交換していただく座談会です。

事業所と高校生の交流会

日時:①令和6年8月22日(木)9時～12時 ②令和6年11月7日(木)16時30分～18時30分

場所:①志布志高校 ②尚志館高校

参加:①高校生64名、企業10社 ②高校生31名、企業11社

講師:アドバイザー:お茶の水女子大学特任准教授 高丸 理香 様

進行:株式会社タマリバ 岩切 礼 様

内容：市内の2つの高校にて開催。将来の担い手となる高校生の価値観を事業所が知ることによって誰もが活躍できる職場づくりのヒントを得ることができた。高校生にとっては、自身の将来の進路についてより具体的に考えることができるとともに、地元の企業を知ることによって、地元就職へのきっかけづくりとなる。



女性活躍推進に関する事業所・従業員アンケート調査

調査対象：従業員10人以上の市内事業所及び従業員

対象数:218社及び436人(1社2人)

調査方法: 郵送による配布及びインターネットによる回答

調査期間: 令和6年8月27日～9月20日

有効回収数:60社及び103人 有効回収率:27.5%及び23.6%

調査目的:本市で働く女性が、その個性と能力を十分に発揮して

活躍できるような職場環境・企業風土づくりにおける課題や、女性の活躍に関する意識と実態を把握し、女性の活躍推進に向けた取組の推進を図るための基礎資料を得る目的で調査・分析を実施した。

女性活躍推進に関する事業所・従業員アンケート調査

調查結果報告書（概要版）

調查目的

本市で働く女性が、その個性と能力を十分に発揮して活躍できるように職場環境・企業風土づくりに
 における課題や、女性の活躍に関する意識と実態を把握し、女性の活躍推進に向けた取り組みの推進を図
 るための基礎資料を整理する目的で調査を実施した。

1-1. 女性の活躍を推進するための取り組み状況 事業所アンケート

国別	2016	2017	2018	2019	2020
日本	100	100	100	100	100
中国	100	100	100	100	100
米国	100	100	100	100	100
インド	100	100	100	100	100
ブラジル	100	100	100	100	100
ロシア	100	100	100	100	100
韓国	100	100	100	100	100
インドネシア	100	100	100	100	100
タイ	100	100	100	100	100
ベトナム	100	100	100	100	100
フィリピン	100	100	100	100	100
マレーシア	100	100	100	100	100
シンガポール	100	100	100	100	100
香港	100	100	100	100	100
台湾	100	100	100	100	100
韓国	100	100	100	100	100
日本	100	100	100	100	100
中国	100	100	100	100	100
米国	100	100	100	100	100
インド	100	100	100	100	100
ブラジル	100	100	100	100	100
ロシア	100	100	100	100	100
韓国	100	100	100	100	100
インドネシア	100	100	100	100	100
タイ	100	100	100	100	100
ベトナム	100	100	100	100	100
フィリピン	100	100	100	100	100
マレーシア	100	100	100	100	100
シンガポール	100	100	100	100	100
香港	100	100	100	100	100
台湾	100	100	100	100	100

女性の活躍推進に向けた取り組みとして、「性別に与えられるべき公正な人事管理制度・評価制度の構築」が最も多く83.3%。「女性従業員との継続就業を目的とした人事配置や転勤への配慮」が80.0%、「積極的な女性管理職の登用」が55.0%であった。さらに「今後、取り組み予定」として、「ロールモデル育成や提示」が41.7%、「メンター制度の導入」が33.3%であった。

1-2. 女性の活躍を推進することの効果 事業所アンケート

[illegible]

女性の活躍を推進することの
効果について「当てはまる」「やや
当てはまる」と回答した割合は、
「男性にはなかった、新しい視点
での提案が可能になる」が
91.7%で最も高く、次いで「これ
までの仕事の仕方や働き方を見
直すきっかけとなる」「働きやす
い企業として評価されることで、
優秀な人材を確保できる」、男女
ともに職務遂行能力によって評
価されるという認識を高めるこ
とができる」がそれぞれ86.7%。
「女性の能力発揮により、経営の
効率化を図ることができる」が
86.6%となっている。